

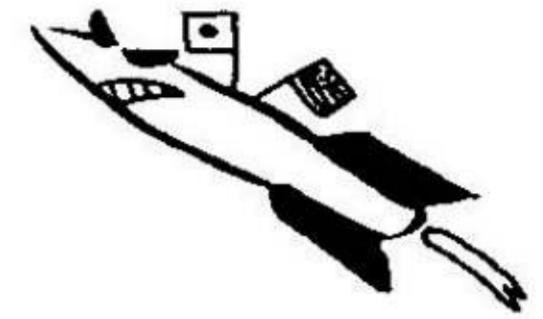
土浦平和の会

ニュースNO・84 1999年11月

発行 土浦平和の会
 事務局 土浦市神立町2664-2
 TEL 31-9122

日本国憲法がかがやく21世紀を

—'99日本平和大会IN岩国“に参加して— 山口雪雄



'99年日本平和大会が10月28日から31日まで4日間、米海兵隊が常駐する岩国市で開催されました。私は、29日から31日まで、10人の茨城県代表団の一員としてこの大会に参加しました。開会総会参加者は1,500余。大会は28日の国際会議に続いて、29日(金)の開会総会、30日(土)は、早朝からの岩国基地、呉基地調査と午後の分科会、公開シンポジウム、入門講座、夜の文化の夕べと過密スケジュール。この中で印象に残ったことを報告します。

茨城だけを見ると、若者がいないようですが、今年の大会は、多くの県からの青年の参加と、元気な女性の発言、各地での活躍が目立ちました。開会、閉会総会でも、分科会やシンポジウムでも戦争法の危険性を告発し、その発動と基地強化を許さない全国各地でのたたかいと成果が数多く報告されました。私が参加した公開シンポジウム「日本の主人公は米軍なのか—地方自治体・住民は訴える—」には、会場いっぱい約420人が参加し、パネラーに広島県芸北町の増田町長(保守系無所属)が出席し注目されました。増田町長は「米軍の低空飛行訓練の即時中止を求める県北連絡会」の副会長として運動の先頭に立ち、「空の暴走族」米軍機の無法な低空飛行訓練にたいし、町として目撃情報を集めはじめたところでした。

30日、米軍岩国基地調査には600人、海上自衛隊呉基地調査には500人が海外代表も含めて参加しました。この日は、土曜日にもかかわらず米韓合同演習のため、朝早くからF18戦闘攻撃機やKC130空輸機などが次々と、ごう音をたてて頭上を飛び立ちました。案内は日本共産党久米県議。米軍の要請で新しい滑走路新設が、国の思いやり予算1,600億円を投入しておこなわれ、来春から近くの山を50メートルも削って理立て用土砂を採取するとのこと。そのため長さ3キロのベルトコンベヤーを設置し、延々と基地近くの沖合まで敷設されているのが確認されました。毎日5,000万円の思いやり予算がぎ込まれている岩国基地は、東京ドームの119倍の面積をもち、新ガイドライン成立後、岩国港を米軍が日常的に使用を開始し、大型艦船の接岸可能な岸壁も計画されています。西太平洋全域から中東までの広い地域を対象にした海兵航空隊の出撃拠点基地とみなされているこの市で、日本平和大会が開かれた意義は大きいものがあると改めて感じました。21世紀まであと1年余、この大会に参加して例年よりも若者の参加が多く着実に世代交代と思想信条を超えて共通の一致点で協力し合う草の根の住民運動が前進していることを確信できた3日間だったと思います。最後に、大会参加に際して物心両面でご支援頂いた土浦平和の会、会員の皆さんに厚くお礼申し上げます。

資料「干渉と介入の基地岩国」、徹底説明 新ガイドラインと沖縄(基地の県内移設、サミット、平和資料館)等を購入してきましたのでご活用下さい。



① 今年も販売します ②
特選 勝沼ワイン
赤・白(辛口)
 1本 1,200円
 茨城県平和委員会 ③

行事ごよみ

- 10・19 県平和委理事会(水戸)
- 10・21 10・21県民集会つくば集会
- 10・22 土浦平和の会理事会(1中地区公)
- 10・29~31 日本平和大会(岩国)
- 11・3 革新懇世話人会(福田宅13:30~)
- 11・9 コープ・ピースバスツアー
 風船爆弾跡地、震洋基地跡など
- 11・18 土浦平和の会理事会(1中地区公)

平和かわら版 No248

「前納制を勝ち取ろう」

の記事を読みましたか?

その月の会費が入金されないとう活動に支障が出ます。12月までの会費、機関紙代を早急に納入してください。